

平成 21 年度～23 年度 習志野市事務事業評価表

1. 事務事業基本情報

事業名	No.83 習志野市芸術文化協会活動助成事業			担当課	社会教育課			予算費目名	款	項	目
事業概要 及び目的	習志野市芸術文化協会の自立へ向けた支援のため補助金交付を行い、市内における各芸術・文化活動を行う団体の資質向上を図り、市民の生涯学習に対する意欲を高める。			成果目標	補助事業の内容・日数（芸術祭・市民まつり・市民文化祭・チャリティバザー・研修会・会員交流会の日数の合計）	年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	
						予算額（単位：円）	3,422,000	3,422,000	3,422,000	3,422,000	
						決算額（単位：円）	3,422,000	3,422,000	3,422,000		
						従事職員数	1	1	1		
事業の 位置づけ	章	1	豊かな人間性と暖かさを育むまち	★左記施策（号）との結び付き 芸術祭の開催や市民文化祭へ参加することにより、各団体が芸術・文化の発表の場として資質の向上の促進を図る。	従事延べ日数	15	15	15			
	節	1	豊かな人間性を育む教育の推進		民間活力の導入	現状は？：■実現している □将来可能性はある □将来困難だが可能性はある □余地なし					
	項	1	生涯学習、生涯スポーツ、芸術・文化活動の振興			相手は？：□市民 ■市民活動団体 □企業・学校等					
	号	3	芸術・文化活動の促進			形態は？：補助					

2. 進捗状況

				平成 21 年 7 月 22 日記入					平成 22 年 5 月記入					平成 23 年 4 月記入
年度	21 年度評価（20 年度実施した事項についての評価）				22 年度評価（21 年度実施した事項についての評価）				23 年度評価（22 年度実施した事項についての評価）					
実施計画上の予定	実施	実施計画の予定 年度終了後	実施	★継続している事項、 未着手事項がある理由	実施計画 上の予定	実施	実施計画の予定 年度終了後	実施	★継続している事項、 未着手事項がある理由	実施計画 上の予定	実施	実施計画の予定 年度終了後	実施	★継続している事項、 未着手事項がある理由
完了した事項	・補助金の交付 《芸術祭（4 月）、市民文化祭（芸文協実施分・10～11 月）、サークルまつり（3 月）に助成ならびに事務所運営費を補助》			事務所運営費がすべて補助金となっていたところ、20 年度から、まず自主財源を充当し、不足する部分について補助金を充当するように改めた。それに伴い経営意識、コストに対する意識が生まれてきているところである。	・補助金の交付 《芸術祭（4 月）、市民文化祭（芸文協実施分・10～11 月）、サークルまつり（3 月）に助成ならびに事務所運営費を補助》			コストに対する意識は生まれたが、活動を経営という視点から見たり、その戦略を立てるとい段階まで到達していない。	・補助金の交付 《芸術祭（4 月）、市民文化祭（芸文協実施分・10～11 月）、サークルまつり（3 月）に助成ならびに事務所運営費を補助》			自立に向けた経営意識を育てるためには、固定化された現在の協会に対する継続的な指導だけでは難しい。運営ではなく経営の視点に立てる人材発掘・投入が必要である。		
継続している 事項	・協会運営の経営に対する意識改革、コストに対する意識改革				・協会運営の経営に対する意識改革、コストに対する意識改革				・協会運営の経営に対する意識改革、コストに対する意識改革					
未着手事項	・ ・ ・				・ ・ ・				・ ・ ・					
改善案	協会運営の経営に対する継続的な指導			成果指標 実績値 19日 達成率 95%	協会運営の経営に対する継続的な指導			成果指標 実績値 17日 達成率 85%	協会運営の経営に対する継続的な指導			成果指標 実績値 17日 達成率 85%		

3. 今後の方向性

				※課内協議を経て管理職が記入してください。平成 21 年 7 月 29 日協議実施					平成 22 年 6 月 10 日協議実施					平成 23 年 4 月 20 日協議実施
今後の方向性	成果の方向性	拡充	○		成果の方向性	拡充	○		成果の方向性	拡充		○		
*根拠欄は、なぜその「成果の方向性」を選んだか？なぜその「コストの方向性」をえらんだか？別紙「評価の視点」を参照してください。	現状維持				現状維持				現状維持					
	縮小				縮小				縮小					
	休業止				休業止				休業止					
		休業止	縮小	現状維持	休業止	縮小	現状維持	拡充	休業止	縮小	現状維持	拡充		
			コストの方向性				コストの方向性				コストの方向性			
方向性を実現するため実施すること（改革案）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・独自財源の確保を検討する。</li> <li>・協会、各団体指導者の若返り及び育成を図る。</li> <li>・出演者・出品者だけでなく、観客・参観者の増加を図る。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・協会や行事への参加者の若返りを行うことが喫緊の課題であるが、構成している部門（詩吟、民謡民舞、歌謡等）自体が、若者を引き付ける分野ではない。若者文化に対応する分野の新設などを呼び掛けてみたい。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・震災による芸術祭中止を機に、固定化した年中行事を見直す機運も生まれており、自主的な改革を引き続き後押ししたい。事務局員に市民力レッチまちづくりコースを投入することも考えられる。まちづくりコースの進捗状況を見ながら考えてみたい。</li> </ul>					
前年度改革案の実施状況	□実施 ■一部実施 □検討中 □その他 ★実施以外は具体的に記載してください。 ・平成 19 年度 自主財源：459,405 円、事務所運営費：2,672,000 円、補助金額：3,172,000 円 ⇒ 平成 20 年度 自主財源：1,191,834 円、事務所運営費：2,622,000 円、補助金額：3,422,000 円（補助金額については、20 年度 25 万円増加しているが、市民文化祭補助 30 万円の付け替えを含むものであり、実質は 5 万円の減額となっている。）				■実施 □一部実施 □検討中 □その他 ★実施以外は具体的に記載してください。 ・平成 20 年度 自主財源：1,191,834 円、補助金額：3,422,000 円、事務所運営費：2,760,895 円 ⇒ 平成 21 年度 自主財源：1,195,272 円、補助金額：3,422,000 円、事務所運営費：3,199,295 円				■実施 □一部実施 □検討中 □その他 ★実施以外は具体的に記載してください。 平成 21 年度 自主財源：1,195,272 円、補助金額：3,422,000 円、事務所運営費：3,199,295 円 ⇒ 平成 22 年度 自主財源：1,478,262 円、補助金：3,422,000 円、事務所運営費：3,150,144 円					